

No.138

そとくさん



昭和51年12月15日創刊

宮城県登米農業改良普及センター
～人と技術が織りなす活力ある登米農業～

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL (代)0220-22-6111 FAX 0220-22-7522
E-mail: tmnokai@pref.miyagi.lg.jp
URL: https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/



ドローン展示実演会 (豊里町)



無人田植機の実演 (東和町)



畑地水分を測るセンサー (豊里町)

オープンラボのリニューアルとSNSアカウントの開設 農業普及指導専門監 佐藤 郁

農業の担い手の減少や高齢化に伴う労働力不足が深刻となる中、生産現場では、農業にAI（人工知能）やICT（情報通信技術）等の先進技術を導入して、省力化や軽労化を図る取組が進められています。普及センターにおいても、県内外の研究者や農業者などと情報交換する手段として、Web会議アプリやSNSを使う機会が多くなっています。

そこで今回は、今年12月に全面リニューアルしたオープンラボと、来年1月からご利用いただけるようになる登米農業改良普及センターのLINE公式アカウントについてご紹介します。

オープンラボは、普及センターが所有する農業関連の書籍などを農業者の方々に自由に見ていただくための場所ですが、この度のリニューアルにより、社団法人

人農山漁村文化協会が運営する会員制のサイト「ルール電子図書館」がご利用いただけるようになりました。このサイトでは、同協会が発行した書籍・ビデオなどが多数収録されているだけでなく、病害虫の診断や登録農薬、農産加工・販売のノウハウなど、さまざまな情報が検索・閲覧できますので、ぜひ一度ご利用ください。

LINE公式アカウントでは、主に農業技術に関するタイムリーな情報をお届けしたいと考えており、水稲や大豆、麦、りんごの生育状況や肥培管理のポイントのほか、病害虫の発生予報や防除対策、オープンラボからのお知らせなどを配信する予定です。裏面にQRコードを掲載しておりますので、友だち登録をお願いします。

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。応援します。農業普及

重点活動の紹介

No.1 地域ぐるみで取り組む新規就農者の確保・育成

新規就農者の確保・育成は差し迫った課題であることから、関係機関・関係団体と協力して支援体制を整備し、円滑な定着に向けた支援を行っています。

○新規就農者の支援

新規就農者の習熟度に合わせて、個別に技術力や経営力の向上を支援しています。また、新規就農者に共通している課題を解決するため、「みやぎ農業未来塾」を開催し、資金管理を見える化する資金繰り計画書作成等を支援しています。

○認定新規就農者の支援

認定新規就農者に対し、関係機関と連携したサポート巡回や登米農業マイスター制度を活用した個別指導を実施し、技術力・経営力の向上を支援しています。

○新規就農を希望する就農予定者への支援

スムーズな就農につながるよう、関係機関と連携し、定期開催されている就農相談会を通じて、栽培に関する個別相談や就農計画の作成等を支援しています。



7月に開催したみやぎ農業未来塾

No.2 登米地域園芸重点品目の生産振興

みやぎ園芸振興戦略プランの「登米圏域戦略プラン」に掲げる重点振興品目の生産振興のため、技術支援等を行っています。

○環境制御技術を使った施設きゅうりの生産振興

若手生産者を対象に、CO₂発生装置や環境モニタリング機器を活用した管理技術の向上やデータ共有を支援しています。

○いちご新品種の普及定着

「にこにこベリー」等宮城県育成のいちご品種の栽培技術向上を、宮城県農業・園芸総合研究所と共に支援しています。

○ストックの産地育成支援

土壌診断の推進や、JAと連携した講習会・出荷目揃え会の開催により、ストックの安定出荷を支援しています。

○りんごの新規栽培技術導入支援

管理作業の省力・軽労化や早期成園化が見込める“ジョイントV字樹形”の管理技術向上を支援しています。



ジョイントV字樹形に仕立てられたりんご

No.3 地域の営農計画の達成や核となる担い手の育成支援

農地整備事業等に取り組む地域の合意形成や担い手への農用地利用集積・集約化による、持続的な生産体制づくりを支援しています。

○地域ビジョン・促進計画書の検討支援

今年度は、迫町古宿地区や東和町米川地区で促進計画策定のための担い手会議が開催されており、各地区担い手への効率的な集積・集約のための話し合いや先進地視察研修の実施等を支援しています。

また、農地整備後の露地野菜等の高収益作物の導入に向けた取り組みとして、古宿地区では加工用ばれいしょ、東和町内ノ目地区ではれんこんの試作を支援しています。

○農地中間管理事業の活用による経営力強化支援

月例の「農地集積打ち合わせ」等により、登米市・農業委員会・農業農村整備部・地域コーディネーター等と連携して、担い手への集積・集約を支援しています。



8月に行われた先進地視察研修

農地を貸したい！農地を借りたい！そんなときは農地中間管理事業を活用しましょう！

令和4年度 新しく認定された農業士を紹介します!

指導農業士 やまうちけんたろう 山内健太郎さん (中田町)

○経営部門 野菜, 花き

中田町の山内健太郎さんは、きゅうり、花き（ストック、トルコギキョウ、アスター）、水稻の複合経営を行っています。平成26年に経営規模の拡大や経営と家計の分離、信用強化のため株式会社石ノ森農場を設立し、代表取締役として農業経営を行っています。

経営発展のため平成28年に施設きゅうりの栽培を開始し、令和元年度には環境制御設備付き低コスト耐候性ハウスを導入して、規模拡大による経営の安定化を目指しています。

また、花き栽培部門では、管内でストック生産農家が高齢化して栽培面積が減少する中で、登米市内でも有数の栽培規模となっており、ストック産地を下支えしています。

さらに、園芸部門の拡大と並行して、地域農業の担い手として水稻の作業委託の要望にも対応しており、今後の広範な活躍が期待されています。



登米市4Hクラブの熊谷利輝氏

東北農村青年会議「意見発表」の部で最優秀賞受賞!

令和4年11月1日、東北農業青年クラブ連絡協議会等が主催する「第52回東北農村青年会議秋田大会」が、秋田県大仙市で開催され、東北各県の代表が、それぞれプロジェクト発表と意見発表の部で日頃の成果を競い合い、熱い弁論を繰り広げました。

大会では、当県の代表として、登米市4Hクラブ員の柳渕泰孝氏（プロジェクト発表の部）、熊谷利輝氏（意見発表の部）の2人が発表を行いました。

両氏は自身に取り組んでいる栽培形態や業務についての課題を見出し、その改善に向けた活動や将来に向けた取り組みについて熱心に発表しました。厳正なる審査の結果、意見発表の部において熊谷氏が最優秀賞の栄冠に輝きました。熊谷氏は、令和5年3月、東京で開催される全国農村教育青年会議へ東北地区代表として推薦され意見発表を行います。普及センターは、更なる高みを目指した挑戦を支援していきます。



JAみやぎ登米キャベツ部会がみやぎ園芸振興大賞を受賞

令和4年8月31日の『野菜(831)の日』に開催された宮城県園芸振興大会において、本県の園芸産出額向上に寄与する取り組みを行う団体等に贈られる「みやぎ園芸振興大賞」を、JAみやぎ登米キャベツ部会が受賞しました。

JAみやぎ登米キャベツ部会は、平成17年に登米市が国の指定産地となったことを機に、出荷施設や予冷庫を整備し、「地中海キャベツ」の名称を掲げ、高品質なキャベツの一元集荷・販売に取り組んできました。更に生産面では環境に配慮した生産を進めてきたことや、販売面ではキャベツの輸出など新たな取り組みも評価されました。



第12回全国和牛能力共進会(全共)鹿児島大会の結果

区分	名号	父牛	地域	氏名(敬称略)	結果
第2区 (若雌の1)	えりな号	茂福久	迫	小野寺 正人	1等賞3席
第4区 (繁殖雌牛群)	ゆりひろ号	勝 洋	迫	伊藤 博幸	優等賞8席
	さいぜんれつ号	好平茂	迫	小野寺 正人	
	かなのこ号	茂 洋	迫	チバズファーム(株)	
第6区 (総合評価群)	英伍乃伍号	洋糸波	石越	金野 康	優等賞6席 九州農政局長賞
	洋糸436号	洋糸波	南方	村田 敏顕	
※肉牛群3頭のうち2頭					

令和4年10月6日～10日に、第12回全共鹿児島大会の種牛の部が霧島市牧園町、肉牛の部が南九州市知覧町にて開催されました。全共とは全国各地から選び抜かれた優秀な和牛を5年に一度、一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う大会で「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。

宮城県からは21頭の代表牛が選ばれ、そのうち登米管内から第2区、第4区、第6区(肉牛群)に6頭が出品されました。審査結果は表のとおりです。

各賞受賞おめでとうございます!

◆令和4年度宮城県農林産物品評会・令和4年度宮城県花き品評会◆

令和4年10月22日～23日に、せんだい農業園芸センター研修棟において宮城県農林産物品評会及び宮城県花き品評会が開催されました。

登米管内からは47点(農産物27点、花き20点)が出品され、審査の結果、下記8点が入賞を果たしました。受賞されました皆様にお祝い申し上げます。

また、品評会に御出品いただきました皆様、御協力ありがとうございました。



部門	品目名	品種名	順位	地域	氏名(敬称略)	備考
水稲	うるち玄米	ササニシキ	2席	豊里	佐々木 金三	農林水産省農産局長賞 宮城県知事賞(2等)
水稲	うるち玄米	ひとめぼれ	3席	豊里	農事組合法人 ときなみファーム	宮城県農業協同組合中央会長賞 宮城県知事賞(2等)
水稲	うるち玄米	ひとめぼれ	6席	米山	農事組合法人 六軒農産	宮城県知事賞(3等)
水稲	うるち玄米	ササニシキ	8席	豊里	佐々木 礼藏	宮城県知事賞(3等)
花き	シクラメン	メリータシャインパープル	金賞 2席	迫	若葉園芸	農林水産省農産局長賞
花き	シクラメン	F1系統	銀賞	中田	相澤 圭治	
花き	スプレーぎく	エリアナ	銀賞	中田	佐藤 秀夫	
花き	きんぎょそう	レジスノー	銀賞	南方	庄司 和	

普及センターの公式SNSが始まります

登米普及センターでは、令和5年1月からLINE公式アカウントによる情報配信をスタートします。このアカウントでは、農業技術情報や病害虫発生予察情報、研修会の開催案内などを、農作物の生育に合わせて月1～3回程度配信する予定です。スマホをお持ちの方は、右記のQRコードから登録をお願いします。



農作業安全対策を徹底しましょう

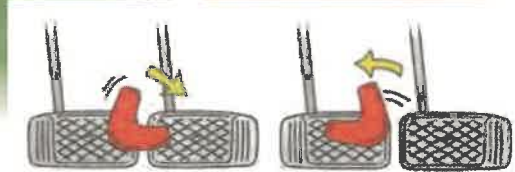
令和4年「農作業安全確認運動スローガン」

【しめよう！シートベルト】

走行中のトラクター等の転倒・転落事故防止！

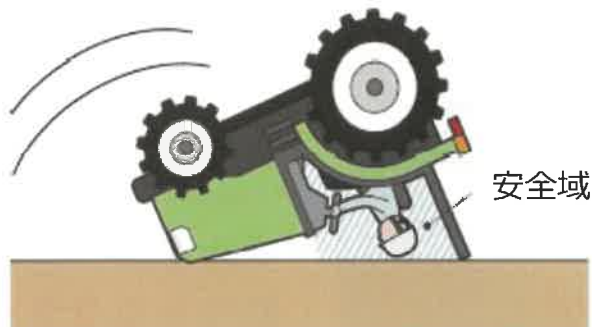
死亡事故の過半数はトラクターが原因です！

- ・ 路肩からの転落に注意！
- ・ いねむり，脇見運転注意！
- ・ 携帯電話等を持参し，もしもの時に家族等と連絡を取れるように！



作業時以外は左右ブレーキペダルを確実に連結！

安全フレーム・シートベルト着用
→転落・転倒時に安全域にとどまれる確率が高い！

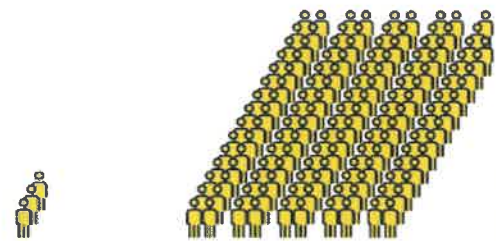


安全フレーム・キャブ付き
トラクターの使用！
シートベルト，ヘルメット
着用の徹底！

トラクター等の交通事故による死亡者数

シートベルト着用あり

シートベルト着用なし



3人

148人

安全フレーム・キャブのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ，死亡事故につながる可能性も！

農作業安全のための規範を守りましょう

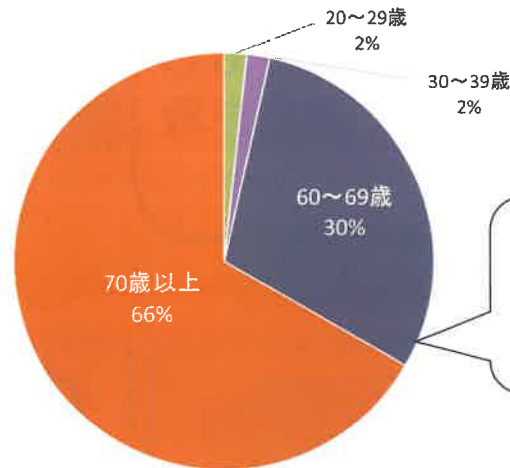
【個別規範：農業・事業者向け】（一部抜粋）

- ① 適切な**技能**や**免許等の資格**を取得する。
- ② 作業に応じ**安全に配慮した服装**や**保護具**等を着用する。
- ③ 機械や刃物等の**日常点検・整備・保管**を適切に行う。
- ④ 4S（**整理・整頓・清潔・清掃**）活動を行う。
- ⑤ 軽微な事故事例や**ヒヤリ・ハット事例**を分析し，再発防止策を講じる。
- ⑥ **事故発生時の対応**（救護，搬送，連絡，調査，労基署への届出，再発防止策の策定など）**手順を明文化**する。

※詳細は農林水産省ホームページ参照：https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anken/kihan_nougyo.html

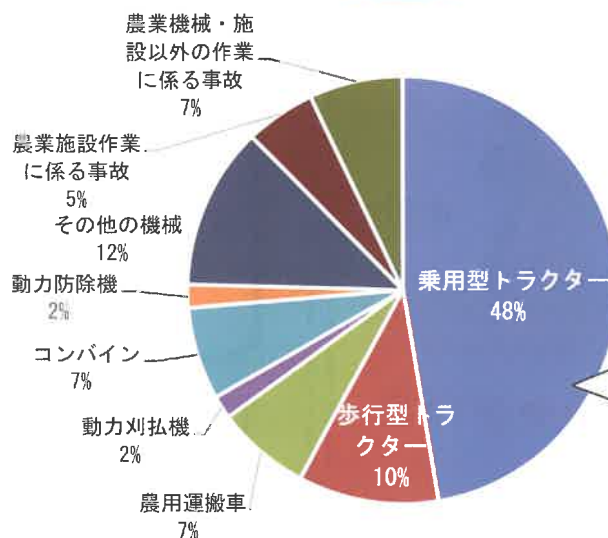
宮城県の農作業死亡事故発生状況

図. 年齢別死亡事故割合
(宮城県 H23~R2)



60歳以上の死亡事故が全体の9割！

図. 機種別死亡事故割合
(宮城県 H23~R2)



死亡事故の過半数はトラクターが原因！

農作業安全対策に関する問合せ

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部 (0220-22-3535)

宮城県登米農業改良普及センター (0220-22-6127)

登米市産業経済部産業総務課 (0220-34-2716)